



第341号

2017年(平成29年)6月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町8-33
大阪府医師協同組合東館4階
TEL:06-6763-5652 FAX:06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 竹浦 久司
大臨技ホームページURL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

平成29年度 微生物検査部門 基礎講座 & 実技講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

講義編

晴れて検査技師となり微生物検査を担当することになった方も、担当部署の異動で微生物検査を担当することになった方も、別の担当業務の合間に微生物検査をお手伝いすることになった方も、明日からのルーチンに役立つ細菌の基礎講習会です。「最低限これだけは知っておきたいこと」を中心に、塗抹検査から培養同定、薬剤感受性までの一連の検査の講義です。

また医師や看護師、他の医療従事者の方には、検査が実際にどのように進みどのように結果が報告されているか理解していただき、普段疑問に思っていることなどの解決になる講義です。多くの医療従事者の方のご参加をお待ちしております。

日時講師

- ▶ 平成29年6月1日(木) 18:30~20:00
ゼロからの塗抹鏡検
講師: 関西医療大学 保健医療学部 大瀧 博文
- ▶ 平成29年6月8日(木) 18:30~20:00
ゼロからの培養同定検査
講師: 松下記念病院 臨床検査科 前田 和樹
- ▶ 平成29年6月15日(木) 18:30~20:00
ゼロからの薬剤感受性検査
講師: 大阪大学医学部附属病院 医療技術部 木村 圭吾

会場

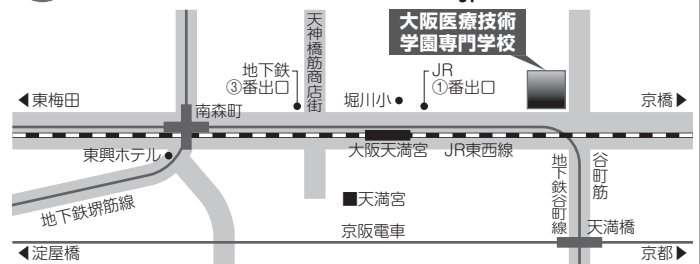
大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費

会員500円 非会員1,000円
※大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れと他府県会員証では非会員扱いとなります。

連絡先

大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 仁木 誠
E-mail: niki@med.osaka-cu.ac.jp



実技編

細菌検査の分野においてはまだまだ手作業の部分が多く、誤った器具の操作方法は自分だけでなく、共に働くスタッフにも感染の危険性を高めてしまいます。また、自動分析装置や簡便なキットが増えたと言っても、その検査結果を正しいものとして臨床に返すには、我々検査技師が判断しなければなりません。

基礎講座実技編は、微生物(細菌)検査の3本柱である塗抹・培養・感受性検査に必要な基礎技術の習得を目的として、基本操作を中心に、日常の検査業務の流れに沿った形で進めていきます。

評価点
専門教科
40点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

日程

- 平成29年 7月15日(土) 13:00~17:30 (受付12:30~)
- 7月16日(日) 9:00~17:00
- 7月17日(月) 9:00~16:00

申込み先

〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-31
大阪警察病院 臨床検査科 有村 泰晃
E-mail: yasu_arimura0123@yahoo.co.jp
TEL: 06-6771-6051

募集人数

20名

募集期間

6月1日(木) ~30(金)

会場

大阪医療技術学園専門学校

参加費

会員(日臨技・大臨技の方)10,000円
非会員15,000円
※受付時に日臨技または大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

申込み方法

上記申込み先にメール(携帯からは不可)または官製はがきにて

- 1) 施設名
- 2) 部署
- 3) 施設の住所、郵便番号、電話番号、FAX 番号
- 4) 氏名
- 5) 日臨技会員の方は、日臨技会員番号
- 6) 微生物検査経験年数

を記載のうえお申込みください。

* 受付後、確認メールを送信いたします。

なお、お申込み後、5日以内に返信がない場合には、電話にてお問い合わせください。

連絡先

大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 仁木 誠
E-mail: niki@med.osaka-cu.ac.jp

近畿支部 微生物部門 合同研修会

評価点
**専門教科
 20点**
 (会員証をお持ちください)
 評価点
 日臨技生涯教育点数

下記の日程で近畿の各府県技師会の合同による講習会を開催いたします。

講演内容については、日常検査業務における基礎的検討や症例等についての各施設からの報告になります。講師の先生方には普段、微生物検査に従事されている技師の方をお呼びしており、その先生方の研究・検討の成果を発表していただく予定です。

微生物検査に所属されている方々にとって、日常業務の疑問の解決のみならず、今後の自施設においての業務内容の検討にも役立つ内容と思います。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、運営の都合上、研修会及び懇親会は事前登録制とさせていただきます。予めご了承ください。

日時 平成29年8月26日(土) 10:00~16:00

会場 住友病院

参加費 会員500円(大臨技会員・日臨技会員のみ)
 *日臨技または各府県技師会会員証をお持ちください。

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 仁木 誠
 TEL: 06-6645-2213

申込み方法 お名前、所属施設名、施設電話番号、施設住所、返信先メールアドレスを明記のうえ、下記アドレスにお申込みください

送信先アドレス: osakabact@gmail.com

*申込みは、メール(携帯不可)にてお願いいたします。受付後、確認メールをお送りします。

募集期間 6月1日(木) ~ 7月31日(月)



内容

10:00~12:00 一般演題(第一部) 司会 神戸大学医学部附属病院 中村 竜也

- 1) 「細菌検査室の新たな取り組みとその評価~グラム染色における菌の形態報告を実施して~」
 講師: 長浜赤十字病院 検査部 速水 亮一
- 2) 「CMPHを用いた迅速簡易同定の検討」
 講師: 公立那賀病院 臨床検査科 口広 智一
- 3) 「化膿性脊椎炎の術中検体からSalmonella Saintpaulが検出された1例
 ~サルモネラ属菌の血清型別やってみました~」
 講師: 姫路赤十字病院 検査技術部 大石 博一
- 4) 「嫌気性菌の同定と薬剤感受性に関する検討」
 講師: 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 阿部 教行

12:10~13:10 ランcheonセミナー 司会 神戸大学医学部附属病院 中村 竜也

「血液培養検査~価値を高めるための迅速対応と検査精度の向上をめざして~」
 講師: 札幌医科大学 検査部 品川 雅明

13:25~15:25 一般演題(第二部) 司会 住友病院 検査部 幸福 知己

- 5) 「ESBL NDP testを用いた血液培養ボトルからのESBLs迅速検出の検討」
 講師: 大手前病院 臨床検査技術部 志村 敏史
- 6) 「最近当院であった薬剤耐性菌検出の2例」
 講師: 京都第一赤十字病院 検査部 岩本 久美
- 7) 「福井県における感染制御活動と耐性菌検出状況の推移」
 講師: 福井循環器病院 臨床検査科 津田 美佐代
- 8) 「Nutritionally variant streptococci (NVS) の分離、同定、薬剤感受性試験全般について」
 講師: 近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 古垣内 美智子

15:30~16:00 総合討論

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 「ケーススタディー方式で学ぶグラム染色の見方・考え方」～尿とか膿汁とか～

講師 西神戸医療センター 臨床検査技術部 山本 剛

グラム染色は微生物を染めて分類を行う検査で、もともとは培地上に発育した微生物を以後の同定プロセスを構築するために行っていましたが、近年プライマリケアの一つとして、抗生剤を選択するための情報として、材料から直接グラム染色を行うことで感染症診療に役立てる機会が増えてきました。感度は比較的高い検査ですが、特異性が低く結果解釈も施設や検査者間で異なります。そのため見方や解釈については標準的な考え方が必要で、診療に沿ったものである必要があります。

今回、西神戸医療センターの山本 剛先生をお招きし、症例に沿ったグラム染色所見の解釈について講演していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成29年6月22日(木) 18:30～20:00

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 仁木 誠
E-mail: niki@med.osaka-cu.ac.jp

会場 大阪医療技術学園専門学校
2階大教室 (map:P1参照)

参加費 会員500円
非会員1,000円

*受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

第4回 細胞診定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 消化器細胞診

講師 大阪赤十字病院 和田 恭典

6月のテーマは消化器細胞診です。唾液腺を含めた消化器系臓器の解剖と組織構造の基礎から病理細胞診業務に携わる上で必要となる知識やトピックまで、幅広い内容がコンパクトに収められた講義となっています。細胞検査士を目指しておられる方からベテランの方まで、多数のご参加をお待ちしております。

日時 平成29年6月19日(月) 18:45～20:15
(受付開始18:15～)

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
(map:P1参照)

参加費 会員700円 非会員1,200円
※大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れと他府県会員証では非会員扱いとなります。

連絡先 大阪府済生会野江病院 病理診断科 小椋 聖子
E-mail: seiko.ogura@noe.saiseikai.or.jp
T E L : 06-6932-0793

学術部 生理検査部門からのお知らせ

生理検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

神経伝導検査は、感覚障害や筋力低下を有する患者に対し実施され、診断の補助や予後の推定を行うことができる有用な機能検査です。今回は、神経伝導検査をこれから担当される方や担当して間もない方など、初学者を対象とした講習会を企画いたしました。

講習会では、末梢神経とその支配筋に関する解剖、適切な記録電極の配置と電気刺激、得られた波形の解釈など、神経伝導検査の基礎知識を解説します。これらの基礎知識は、術中神経モニタリングにおいても必要となってきます。また、実機を用いてライブ形式で神経伝導検査をご覧いただき、運動神経伝導検査、F波検査、感覚神経伝導検査といったルーチン検査ができるようになることを目標としています。皆様のご参加をお待ちしております。

Theme 神経伝導検査「基礎から学ぶ神経伝導検査 ー初級者対象 ライブデモありー」

講師 市立豊中病院 臨床検査部 齊藤 直樹

日時 平成29年6月22日(木) 18:30～20:00
(受付開始18:00～)

連絡先 西宮渡辺心臓・血管センター 臨床検査科 川崎 俊博
E-mail: kawasaki4552@gmail.com

会場 大阪市立大学医学部学舎
4階 中講義室 (map:P5参照)

参加費 会員500円
非会員1,000円

定員 100名 ※満員の際はお断りする場合があります。
配布資料につきましてもご用意できない場合がございますのでご了承ください。

予告 今年もやります！ 第8回 血管エコー実技研修会のお知らせ

例年、好評の血管エコー実技講習会を本年も開催します。エキスパート達のテクニックをぜひ習得しましょう。詳しくは大臨技ニュース来月号に掲載します。

日時 平成29年8月6日(日)
会場 大阪府医師協同組合本部
募集期間 7月初旬からの予定

学術部 免疫化学検査部門からのお知らせ

免疫化学検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「補体の基礎 ～試薬組成・反応原理～」
「補体の実際 ～日常業務で困らない為に～」

講師 和光純薬工業株式会社 学術部 長尾 健次
パナソニック健康保険組合 松下記念病院 臨床検査科 林 智弘

「補体の基礎・実際」をテーマに、前半を和光純薬工業株式会社の長尾先生に、後半を松下記念病院の林先生に御講演をいただきます。化学・免疫・凝固など様々な検査に関わってくる補体ですが、なんとなくとっつき難い項目の1つではないでしょうか。

今回は、試薬メーカーと臨床現場の立場から、分かり易く・覚え易く解説していただきます。多数のご参加をお待ちしております。

日時 平成29年6月13日(火) 18:30～20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
(map:P1参照)

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 大阪府済生会吹田病院 臨床検査科 高崎 匡
E-mail: immunoandchem-osaka@yahoo.co.jp

情報組織部 チーム医療部門 からのお知らせ

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

多職種公開講座 ICT 部会講習会

平成29年度第1回目のICT部会講習会を開催いたします。今回は感染管理認定看護師ICN (Infection Control Nurse) の岡田先生に感染対策に必要な現場の知識についてご講演いただきます。感染対策における標準予防策、経路別予防策は基本ですが、私たちは本当に内容を理解できているでしょうか？WHOの手指衛生5つのタイミングはわかっているても、実際の現場でどの行為がどのタイミングに該当するか理解できているでしょうか？今更聞けない基本的な内容について、詳しく説明して頂き、臨床検査技師に求められる役割についてご講演いただきます。感染管理を長くされている方も、経験年数の少ない方もぜひご参加ください。

Theme ICNが教える感染管理の基礎知識と臨床検査技師に求められる役割

講師 大阪市立大学医学部附属病院 岡田 恵代

日時 平成29年6月16日(金) 18:30～20:00

会場 大阪市立大学医学部 学舎4階中講義室1

参加費 500円(一律)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 中家 清隆
E-mail: 1357265@med.osaka-cu.ac.jp



多職種公開講座 糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

グリコヘモグロビン (HbA1c) やグリコアルブミン (GA) は、ともに血糖コントロールの指標として今日用いられており、病態によって使い分けをされている施設も多いかと思えます。前半の倉本さんからは、このHbA1cとGAの検査の違いや、自施設で経験した乖離例について紹介して頂きます。後半の管理栄養士の田貝さんからは、検査データを基に栄養指導を行い、自己管理を改善された例などを取り上げ、患者さまが自己管理のための『やる気』を起こすアプローチ法などを紹介していただきます。

日時 平成29年6月20日(火) 19:00～20:30

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
(map:P1参照)

参加費 500円(一律)

連絡先 松下記念病院 江後 京子
E-mail: ego.kyoko@jp.panasonic.com

1. 「糖尿病検査のピットホール～HbA1cの偽高値、GAの偽低値を体験して」
講師：日生病院 中央臨床検査部 倉本 訓子
2. 「患者さまの行動変容を促し、自己効力感を高める事ができる多職種連携とは」
講師：南港病院 管理栄養士 田貝 泉

一般検査基礎講習会

評価点
**専門教科
 20点**
 (会員証をお持ちください)
 評価点
 日臨床生涯教育点数

本研修会は一般検査の基礎的内容を中心に学ぶことを目的とし、一般検査を始められた方からベテラン技師まで、幅広く学べる内容を考えております。昨年好評であった講師の方々に今年度もお願いいたしました。

第3回目は尿沈渣検査法②として「上皮細胞類」の分類と基礎的な鑑別法について、第4回目は尿沈渣検査法③として「円柱類」では円柱の生成とその出現意義を、「塩類・結晶類」では鑑別方法と臨床的意義などについて学びたいと思います。シリーズ受講で尿沈渣スキルをアップしませんか？皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第3回 尿沈渣検査法②「上皮細胞類」～はじめの第一歩～

講師 長吉総合病院 臨床検査科 野崎 聖恵

日時 平成29年6月14日(水) 18:30～20:30

会場 クレオ大阪中央 セミナーホール

参加費 技師会員(賛助・申請中を含む)500円
 非会員1,000円

連絡先 大阪赤十字病院 山本 裕之
 E-mail: osaka_ippan@yahoo.co.jp

予定 5回目以降は下記の通り開催いたします。
 詳細については開催月の大臨技ニュースをご覧ください。
 ※ 各回とも18:30よりクレオ大阪中央にて開催予定です。
 ※ 日程や会場について変更のある場合があります。

第5回 平成29年7月12日(水) 「異型細胞類」

第6回 平成29年7月26日(水) 「髄液検査法」

第4回 尿沈渣検査法③「円柱類」「塩類・結晶類」

内容 1. 「円柱類」～たかが円柱・されど円柱～
 講師: 近畿大学医学部堺病院 エスアールエル検査室 吉永 治代
 2. 「塩類・結晶類」～塩類・結晶類の基礎を学ぼう～
 講師: ベルランド総合病院 臨床検査室 中島 大佑

日時 平成29年6月28日(水) 18:30～20:30

会場 クレオ大阪中央 セミナーホール



Voice

臨床検査技師教育機関からの声

「行事紹介」 本校には臨床検査技師学科の他に、歯科技工士学科、歯科衛生士学科があります。例年6月には、全学科の1学年対象に3泊4日で「国内研修」を実施しています。男性は鳥取県大山へ、女性は広島県の帝釈峡へ行きます。これは、体育の授業であるとともに次の目的も有します。

1. 実践を通しての体力の増進に関する正しい理解
2. 集団生活による人の自主性、社会性についての認識
3. 教員、学友との交歓
4. 自然環境の観察

毎年、チーム対抗でテニス、キックベースボール、ドッジボールなどのスポーツで盛り上がります。普段、机に向っている学生たちも、この4日間は真剣にスポーツに取り組み、友人たちと共に汗を流しています。男子学生は、標高1,729mの大山登山にチャレンジします。登頂すると素晴らしい景色を一望でき、学生の達成感に満ちた表情も印象的です。また、女子学生は最終日に学科対抗の運動会をします。運動会では綱引きやトラック競技などの種目があり、毎年白熱した試合が繰り広げられ応援にも力が入ります。それにより団結力も一気に芽生えます。



この国内研修により新たな友人ができ絆も深まり、クラスの雰囲気も良くなります。学校生活に戻っても、相手のことを思いやる気持ちを忘れずにいてほしいものです。そしてみんなで心温かい医療技術者になれるよう一致団結し国家試験合格を目指します。またこの研修は我々教務が普段見ることのない学生の姿や、意外な一面も見られるとても意義のあるものです。今年も6月27日から6月30日の4日間で行ってきます。

日本医療学院専門学校3年担任 山本 千恵子

中島 康仁(JICA Samoa, Senior Volunteer)

Malo (サモア語で「こんにちは」という意味です)、皆さん、お元気ですか。現在、私はJICAボランティアとしてサモア国立病院の臨床検査室で働いています。

今回は検査室で一緒に働くサモア人のMさんのお宅に、JICAの友人であるIさんと一緒に行き、サモアの伝統料理であるウム料理づくりをお手伝いさせて貰ったので、その時の体験を紹介します。

ウム料理は太平洋諸島先住民の伝統的な料理法で、ウム umuとは焼き石かまどを意味するポリネシア語です。日曜日は男達が朝早くからウム料理を作り、家族が教会から帰ってきたら、皆で食卓を囲んでの昼食をToonaiと呼んでいるようです。

ウム料理は調理小屋の地面に掘った穴の中で、薪や椰子の実から作った炭などを使って、十数個のこぶし大の石を焼き上げていくところから始まります。石を焼き上げている間に調理小屋の外で地面に突き刺した棒でココナツの外側の殻を割ります。殻を割ったココナツに包丁の背を使って殻を叩き割り、飲み口を作ってココナツの果汁を飲むこともできます。これをNiu (ニウ) といい甘くなくサッパリとした美味しい飲み物です。

割ったココナツの中身を器具で擦りおろしてココナツの果肉を集めます。Mさんは簡単そうにやっていたのですが、私がやらせて貰うと案外難しく、なかなか擦り下ろせません。とうとう「来年のクリスマスまでに間に合えば良いよ」と言われました。擦りおろしたココナツの内皮には実が残っているので、置いておくと鶏が美味しいのを知っているのか啄みにきます。



ココナツの殻を外しているMさん

集めたココナツの果肉は外側の殻を割った際にでた繊維で絞りココナツミルクを作ります。ココナツミルクに細かく刻んだ玉ネギを入れます。3枚程度野タロイモの葉を斜交いに重ね、その中にこぼれないようにそのココナツミルクを入れた後に上部を軽く縛り、外側をアルミホイル(伝統的手法ではバナナの葉)でくるみます。これ蒸し焼きにしたものがパルサミで、タロイモに付けて食べます。タロイモ、ブレッドフルーツは空缶等を半分に切ったその切り口で外皮を削ります。バナナはナイフで皮を剥きます。ウム料理に使うバナナは日本で通常、食べるものよりは、堅く甘みが少ない種類のものです。

調理小屋で焼き上げた石を一旦崩して、その上にタロイモ、ブレッドフルーツ、バナナ、肉、魚等を乗せてバナナの葉をかぶせ、パルサミを並べ、さらにその上にバナナの



殻を割ってNiuを飲もうとしているIさん

葉で熱を逃げないように覆い掛けて蒸し焼きにします。クリスマスのごちそうがある時には豚を丸ごと1匹焼いたりします。

ウム料理は大自然の恵みをそのままに化学調味料等を一切使わず、素材の旨みを焼き石かまどという天然のオーブンで調理するようなものだと思います。私はマーケットでウム料理を買ってきて、タロイモ、ブレッドフルーツ、バナナにパルサミだけでなく、カレーを使ったりして中島流ウム料理を楽しんでいます。

サモアはフレンドリーな国民性で治安がよく、「最後の楽園」といわれるくらいの美しい自然が残っています。ぜひ、サモアに来てウム料理だけでなく様々なサモア文化を感じてみてください。

Fa soifua (サモア語で「さようなら、またね」という意味です)



ココナツの実を絞っているIさん



ココナツ擦りに苦労している筆者



タロイモの皮を削っているMさんとIさん



バナナの葉を覆い掛けて蒸し焼きにしているMさん親子

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！
会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

■平成29年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と、大臨技のみに入会されている方では会費の金額や納入方法が異なりますので、ご注意ください。

※【重要】詳細は、大臨技ニュース12月号に同送しました「会費納入案内」もしくは大臨技ホームページをご覧ください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の振替口座から引落しされます。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備付の「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に必要事項を記入し、大臨技年会費5,000円を早急にお振込みください。

※6月末時点で会費未納の方は、大臨技ニュース等の発送物を中止いたしますので、ご了承ください。

3. 平成29年度より、大臨技のみ会員から日臨技にも入会される方

大臨技年会費5,000円は、日臨技年会費10,000円と合算した15,000円を日臨技に納入願います。

詳細は日臨技へお問い合わせください。

■平成29年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」（「大臨技のみ会員」専用）について【重要】

【重要】第2回目の募集（6月1日から10ヵ月間の加入分）は締切りました。

第3回目の募集は、受付（申込）期間が5月21日～7月20日（締切日厳守）まで、保険加入期間は8月1日から8ヵ月間、保険料は1,970円ですので、お間違いないように申してください※今年度の保険の募集（受付）は、第3回目で最終となりますので、ご注意ください。

平成29年度「年会費」納入の際に、一緒に手続きをお願いいたします。

※申込には、「保険加入依頼書」の提出と「保険料納入」の両方が必要です。どちらか片方だけでは加入できません。両方を確認しましたら加入手続きを行います。

※大臨技臨床検査技師賠償責任保険への加入は、年毎に申込みが必要です。

※一旦納入された保険料は返金できませんので、ご了承ください。

■平成29年度大臨技会員証について

*第1回目の発送（3月末迄に年会費を納入された方）は、4月末に発送いたしました。

*第2回目の発送（4月～6月末迄に年会費を納入された方）は、7月末頃を予定しています。

*第3回目の発送（7月～9月末迄に年会費を納入された方）は、10月末頃を予定しています。

※会員証が届くまでの間に勉強会等に参加される場合は、会費をお振込みされた時の受領証を会員証代わりにご使用ください。

日臨技にも入会されている方は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」から領収証を発行できますので、その領収証をご使用ください。

■会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「大臨技会員証再発行申請書」をダウンロードし必要事項を記入のうえ、大臨技事務局に届けると共に、再発行費500円を郵便局より納入してください。申請書と再発行費の入金確認後、発行します。再発行日程は、会員証発行日程に準じます。11月以降は、「会員登録証明ハガキ」を会員証の代わりといたします。

■臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「臨床検査技師免許証番号 届出書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、当会事務局まで提出してください。届出後、正会員として正式登録いたします。

※【重要】届出が無い場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■施設・技師会・住所等の変更について

所属施設や所属技師会の変更、転居による住所の変更などが生じた場合、速やかに大臨技ホームページより「会員異動届」「施設登録用紙」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、速やかに当会事務局まで提出してください。日臨技にも入会されている方は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」にて、ご自身で変更していただけます。送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物が届かなくなります。

■大臨技退会申請について

大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入の上、大臨技事務局まで提出してください。

※【重要】日臨技・大臨技の両方を退会される方は、日臨技と大臨技の両会に退会の申請を行ってください。日臨技だけに退会申請しても、大臨技も同時退会した事にはなりませんのでご注意ください。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成29年度 第1回(4月13日)開催分

1. 平成28年度事業報告、決算報告、監査報告を行った。
2. 平成29年度定時総会で感謝状表彰者と永年会員表彰者を決定した。
3. 大臨技新年互礼会はグランヴィア大阪にて平成30年1月8日(月・祝)14時～17時、第2回大臨技医学検査学会は大阪国際会議場にて平成30年2月12日(月・祝)で開催することとした。

開催行事予告編

詳細は次号に掲載いたします。

事業名 / 日時・会場	内容	評価点	参加費
多職種公開講座 糖尿病療養指導部会 第30回 糖尿病療養指導士講演会 平成29年7月2日(日) 13:20~17:00 大阪大学中之島センター	糖尿病診療におけるチームの役割 検査技師の立場から 講師：木下 真紀 (天理よろづ相談所病院 臨床検査技師) 栄養士の立場から 講師：森川 久恵 (天理よろづ相談所病院 管理栄養士) 看護師の立場から 講師：安仲 恵 (天理よろづ相談所病院 看護師) 医師の立場から 講師：辻井 悟 (天理よろづ相談所病院 内科医師)	専門 -20	500円(一律)
多職種公開講座 第9回 北地区地域 オープンセミナー 平成29年8月5日(土) 15:00~18:00 市立吹田市民病院 講義室	「認知症を正しく理解して現場で生かそう」 ① 認知症の病態と脳波検査 ② 認知症に対しての臨床検査技師のかかわりについて ③ 認知症患者のケアについて ④ 認知症の血液検査について	基礎 -20	500円(一律)
多職種公開講座 第9回 中央地区地域 オープンセミナー 平成29年8月19日(土) 14:30~17:00 あべのメディックス 6階ホール	臨床検査技師が学びたい放射線領域の画像診断シリーズ 第V弾 「CT・MRIの画像の診方:(胸部・心臓編)・(腹部編)の画像診断」 1. CT・MRI画像の診方(腹部編) 講師：大手前病院 放射線技術部 河合 政和 2. CT・MRI画像の診方(胸部・心臓編) 講師：育和会記念病院 中央放射線科 技師長 渡邊 博隆	基礎 -20	500円(一律)

全自動遺伝子解析装置 ミュータスワコー g1

μTASwako g1 遺伝子検査の理想を追求


Fully Automated Genetic Analyzer

迅速・全自動
 核酸抽出・精製・PCR増幅・分離・検出を全自動で行います。
 開始後約45分で測定が終了します。

μTAS技術
 マイクロチップ内でPCR増幅した産物を電気泳動で
 分離分析することにより目的物質を検出しています。

操作簡便
 試薬・チップなどをセット化しました。
 試料と試薬・消耗品類を計4点セットするだけで測定が開始できます。

測定項目
 MTB・MAC



医療機器届出番号 E7B3X00024000016

【製造販売元】
和光純薬工業株式会社
 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号

【問い合わせ先】
 臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
 TEL: 03-3270-9134(ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成29年7月号の原稿メ切は**6月1日(木)**、8月号は**7月1日(土)**です。